琉球新報　2024年7月4日付

野澤「沖縄の子に夢を」

サッカー日本代表選出

U―23日本代表選手に選出された野澤大志ブランドン（右から３人目）＝３日、都内

ともに掴もう、最高の瞬間を

パリ五輪のサッカー男子日本代表に選出されたGK野澤大志ブランドン（宜野湾中―第一学院高出、FC東京）が喜びの声を上げた。野澤は小学3年生から宜野湾市の長田ドラゴンFCでプレー。FC琉球U―15、FC東京U―18を経て、2020年にFC東京のトップチームに加入した。今季もJ1で力を発揮している。県出身で初の五輪代表選手が生まれ、県内関係者らも喜びと期待の声が上がった。（1面に関連）

「チーム動かす存在に」

県内関係者、活躍に期待

野澤は中学時代、FC琉球U―15でプレーした。監督として2、3年の頃に指導した小寺一生さん㊵＝FC琉球U―18監督＝は、野澤の印象を「発言はしっかりしていたが、人見知りだった。中学2年で身長が180㌢を超え、成長期でもあり体のバランスが悪かったり、鈍かったりする部分があった。ボールをこぼしてキャッチはぼろぼろだった」と印象を語る。

大きく変わったのは現役プロGKの存在が大きかった。小寺さんは「野澤が中2で指を骨折した時期に、当時琉球でプレーしていた朴一圭（パク・イルギュ、現J1・サガン鳥栖）選手がアカデミーで指導をしてくれて、そこから中3にかけて大きく成長した」と振り返る。

県内初のJリーガーでGKとして活躍した石川研さん(54)＝FC琉球高等学院サッカー部監督＝は「長かったけど、ようやく県出身GKの代表選手が出た。指導者や先輩、いろんな人から影響を受け、成長して一人前になれる。子どもたちの憧れの存在として、次の世代に多くのことを伝えられる選手になってほしい」と期待を込めた。

野澤が小学生時代に所属していた長田ドラゴンFCの当時の監督、川畑功一さん(71)＝宜野湾市＝は「『世界で活躍したい』という言葉に力強さを感じていた。有言実行だ」と声を弾ませた。「GKとしてチーム全体を動かす存在になってほしい」と、五輪での活躍に期待した。

県サッカー協会の玉城吉貴会長(65)は「沖縄の子どもたちの夢につながる。1968年のメキシコ大会銅メダルが最高成績なので、それ以上を目指してほしい」と活躍を願った。

（大城三太、渡真利優人）

日本代表選出　野澤一問一答

エネルギッシュに戦う

U―23日本代表選手に選出され、会見に応じる野澤大志ブランドン

パリ五輪のサッカー男子日本代表メンバーに選ばれた野澤の会見での一問一答は次の通り。

―目標と意気込みを。

「優勝を目標に、アジアチャンピオンとして出場する。自分としてはキーパーとして2人、3人分の力を発揮しエネルギッシュに戦う。もちろん優勝を目指したい」

―ほかの大会と五輪の違いは。

「日本サッカーの歴史を変える大きな大会で、多くの人も注目している重要な大会だと思う」

―アジア・カップも含め振り返って思うことは。

「自分の進むべき道は見失わず、その瞬間、瞬間で学ぶこと、修正しなくてはいけないことをしっかり考えながら歩んで来た。それは今回の五輪でも一緒と思っている」

―同時に選出されたGK小久保玲央ブライアンとの競争もある。一方でチームが勝つためにやっていくべきことは。

「チームで戦う以上、自分が出る、出ないに関わらず、どんな状況であってもチームの勝利のために何ができるかを考えて取り組んでいきたい」

―かつて在籍した岩手のチーム（いわてグルージャ盛岡）から学んだことは何か。

「盛岡では本当に濃い時間を過ごした。ほとんどが苦しい時間だったと思うが、人としてかなり成長したと思う。岩手に行って良かったと思う」

―地元の沖縄で応援しているたくさんの人へ伝えたいことは。

「見てくれて、見られていることを意識している。オリンピックでは、特に沖縄でスポーツしている子どもたちに夢、希望、勇気を与えられたらと思っている」

細谷ら18人選出

OA枠なし

日本サッカー協会は3日、原則23歳以下で争うパリ五輪の男子日本代表に細谷（柏）藤田（シントトロイデン）ら18人を選出した。3人まで認められる24歳以上のオーバーエージ（OA）枠の選手は選ばなかった。OA枠が不在なのは、1996年アトランタ、2008年北京の両大会以来。

最終予選で主力だった松木（FC東京）は外れた。海外組は6人で、三戸（スパルタ）斉藤（ロンメル）らが入った。国内組はJ1首位の町田の平河や藤尾のほか、荒木（FC東京）らが名を連ねた。大岩監督は東京都内で記者会見し「決勝に進む、金メダルを奪うという目標の下、戦っていきたい」と意気込んだ。

8大会連続12度目の出場となる日本は1968年メキシコ五輪の「銅」以来のメダル獲得を目指す。1次リーグは16チームが4組に分かれ、各組2位までが準々決勝に進む。26日の開会式に先立って始まり、D組の日本は24日（日本時間25日）にパラグアイ、27日（同28日）にマリ、30日（同31日）にイスラエルと対戦する。

チームはマルセイユで調整し、17日に開催して五輪に出場するフスと強化試合を行う。

人一倍走る

荒木遼太郎の話　人走って、結果にこだわりがらやりたい。正直、年、おととしでは（五表入りは）考えられなかた。いろいろな人に感謝たい。

「制限あ

慎重に

大岩監督は言葉を選がらメンバー選考につ語った。

―24歳以上のオーバージ枠を活用しない。

「いろいろな制限が中で、われわれが招集ことができる最高のメーを選んだつもり。U（23歳以下）の選手た戦ったアジア杯でチャンオンになった自信と誇

⚽パリ五輪　サッカー男子代表

※［　］内は所属、数字は背番号

	GK	小久保　玲央ブライアン	23歳	［ベンフィカ］	1
	GK	野沢　大志ブランドン	21歳	［ＦＣ東京］	12
	DF	大畑　歩夢	23歳	［浦和］	16
	DF	西尾　隆矢	23歳	［Ｃ大阪］	3
	DF	木村　誠二	22歳	［鳥栖］	5
	DF	半田　陸	22歳	［Ｇ大阪］	2
	DF	関根　大輝	21歳	［柏］	4
	DF	高井　幸大	19歳	［川崎］	15
	MF	川崎　颯太	22歳	［京都］	6
	MF	山本　理仁	22歳	［シントトロイデン］	7
	MF	荒木遼太郎	22歳	［ＦＣ東京］	13
	MF	藤田譲瑠チマ	22歳	［シントトロイデン］	8
	MF	三戸　舜介	21歳	［スパルタ］	14
	FW	平河　悠	23歳	［町田］	17
	FW	藤尾　翔太	23歳	［町田］	9
	FW	佐藤　恵允	22歳	［ブレーメン］	18
	FW	斉藤　光毅	22歳	［ロンメル］	10
	FW	細谷　真大	22歳	［柏］	11